

ようこそ 鹿児島県立南薩特別支援学校ホームページへ！！！！



校長の山下英一です。本校2年目です。

本校は、薩摩半島のほぼ中央に位置する南さつま市金峰町にあり、東に金峰山、西に日本三大砂丘の一つである吹上浜、南に野間岳、近隣には肥沃な田園と、美しく豊かな自然に恵まれた環境にあります。

昭和54年に知的障害のある児童生徒を対象として開校し、平成19年からは、肢体不自由のある児童生徒の受け入れも始めた知肢併置の特別支援学校です。

南薩地区3市(南さつま市、枕崎市、穎娃町を除く南九州市)と日置市吹上町を通学区域としており、大浦線、枕崎線、知覧線の3路線で通学バスを運行しています。

本年度は、小学部42人、中学部28人、高等部42人の計112人(通学生109人、訪問教育学級3人)の児童生徒が在籍しています。このうち、医療的ケアを要する生徒も4人在籍しており、特別支援学校看護師や保護者、関係職員が連携して対応しています。

【学校教育目標】

児童生徒の命と人権を守り一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行い、「生きる力」を育み、自立と社会参加に向けて強く・正しく・豊かに生活する児童生徒を育成する。



「強く・正しく・豊かに」は、本校の校訓です。入学式で次のように話しました。「『強く』とは、身体と心を強くすることで、『正しく』とは、ルールや約束を守りながら周りの人たちに優しくすること。そして『豊かに』とは、いろいろな経験を積み重ねながら、嬉しいと感じたり満足したりすることです。そのために、一人一人ができること、やってみたいこと、何でも好きなことに

思い切ってチャレンジしてください。一緒に頑張りましょう。」と。

私たち南薩特別支援学校の職員は、学校教育目標の達成を目指して取り組みますが、そのベースとなるものとして「学校経営の素」を共有しています。それは、「丁寧な指導」、「対話と協働」、「チャレンジ」です。これらを合い言葉に、南薩特別支援学校の改革を目指します。

「丁寧な指導」とは、子供や保護者の思いを受け止めながら一緒に考えるということです。

「対話と協働」とは、価値観や方法論は違っても「子供の夢や希望を実現したい」という思いを同じとする仲間が集まりだという意識で取り組むということです。そして「チャレンジ」とは、できない理由を挙げるのではなく、どうすればできるかを考え、失敗を恐れずに挑戦し続けることです。

子供たちも職員も「毎日、『おはよう』と元気に登校し、『また明日』と笑顔で帰る」ことができるような学校づくりに取り組みます。

引き続き、温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

令和7年4月 校長 山下 英一